

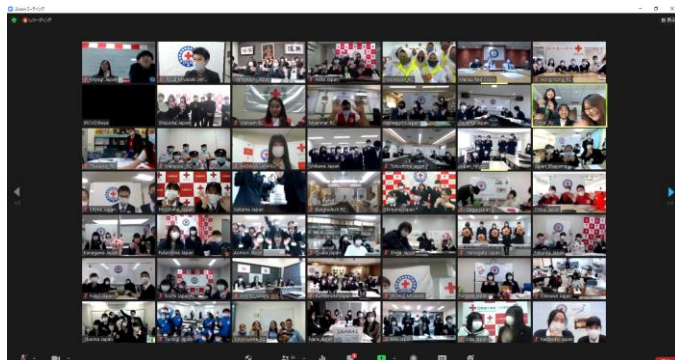
令和2年12月

## 令和2年度青少年赤十字国際交流事業

去る11月15日に令和2年度青少年赤十字国際交流事業が開催されました。本事業は隔年で開催され、海外の青少年赤十字メンバーと交流を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、WEB会議形態での開催となり、18の国と地域からの学生約300名が参加しました。



会議の様子



WEB会議の参加者

沖縄県青少年赤十字高校協議会からも14名のメンバーが参加し、自己紹介や文化の紹介、赤十字クイズなどを通して他国の青少年赤十字メンバーと交流しました。

会議のなかでは、新型コロナウイルスをめぐる偏見をなくすためにできることについて話し合い、正確な情報をきちんと受け取ることが重要だとの声が多くあがりました。

## ゆいクロスにて献血実施



ゆいクロスでの献血の様子

献血会場では、受付で検温と手指消毒を行い、献血バス内においても看護師と献血者の間に飛沫防止のフィルムが張られるなど、感染防止対策が取られていました。

血液センターの担当者は「献血は不要不急の外出には当たらない」とし、多くの方々の献血への協力を呼び掛けました。

11月30日に日赤沖縄県支部災害救護倉庫前にて「ゆいクロス」献血を実施しました。

新型コロナウイルス感染症のために全国的に献血協力者数が減少している状況のなか、献血会場では正午の受付開始から病院にお見舞いに来たご家族の方々や、赤十字職員らが献血に協力しました。



感染防止対策がなされた献血バス内